エコアクション２１

環境経営レポート

対象期間　：２０２２年９月～２０２３年８月

発　行　日　：２０２３年１０月３１日

有限会社 大洋企業

エコアクション21®
認証番号0013862

目　次

1.　組 織 概 要　・・・・・・・　１２

2.　環境経営方針　・・・・・・・　3

3.　環境活動の実施体制　・・・・・・・　4

4.　環境活動目標　・・・・・・・　5

5.　環境活動計画
及び実施状況評価　・・・・・・・　6

6.　環境目標の実績、及びその評価と
次年度の取組内容　・・・・・・・　7

7.　環境活動・取組実績　・・・・・・・　8

8.　環境関連法規の遵守状況　・・・・・・・　9

9.　代表者による全体の取組状況の評価
及び見直し　・・・・・・・　10

１．　組 織 概 要

(1)　事業所名及び代表者名

有限会社　大洋企業

代表取締役　橋本　昌賀

(2)　所在地

本社　　熊本市南区川口町１９０７番地３

駐車場　　熊本市南区川口町１９０７番地１
資材置場　　熊本市南区川口町１９０８番地３
　　熊本市南区川口町１９０５番地１

(3)　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

環境事務局

連絡先　　TEL ：０９６－２２３－０２８９

　　FAX ：０９６－２２３－０３８９

(4)　事業内容

● 建設業の許可　　許可番号　熊本県知事　特-5　第11663号

事業活動内容　　総合建設業

（土木工事業、 解体工事業、 舗装工事業、 石工事業、
とび･土工工事業、 塗装工事業、 水道施設工事業、
鋼構造物工事業、 しゅんせつ工事業、）

● 建設業の許可　　許可番号　熊本県知事　般-5　第11663号

事業活動内容　　建築工事業

● 産業廃棄物収集運搬業　　許可番号　第003403号

(5)　事業規模

設立　　平成　元年　２月　１日
資本金　　２,０００万円
完成工事高　　４６３，０００千円
従業員数　　２１人
事業年度　　８月決算（９月～翌８月）

（６）　認証登録範囲

全社　　解体工事業、土木工事業、建築工事業、産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物処理業者向けガイドライン情報開示

（1） 事業内容　　産業廃棄物収取運搬業

≪産業廃棄物収集運搬業≫

許可番号　　熊本県　第003403号

許可年月日　　令和　4　年　6　月　2　日

有効年月日　　令和　9　年　2　月　27　日

産業廃棄物の種類

取り扱う産業廃棄物の種類 （特別産業廃棄物を除く）	石綿含有 産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
燃え殻	○	－
汚泥	○	○
廃油、廃酸、廃アルカリ	－	－
廃プラスチック類	○	○
紙くず、木くず、繊維くず	○	－
動植物性残差	○	－
ゴムくず、鉱さい	○	－
金属くず	○	○
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	○	○
がれき、ばいじん	○	－

（注記）積替え保管はなし

（2） 車両・建設機械

乗用車（事務所用）	5台	10tダンプ	1台
乗用車（現場用）	2台	4tダンプ	6台
10t台車	1台	2tダンプ	3台
8t台車	1台	バックホウ	8台

（3） 産業廃棄物収集運搬の品目

（下請け工事で受託した収集運搬量）

対象年月 品目	2022～23年 （9月～8月）
コンクリート殻	465t
アスファルト殻	72t
木くず	302t
建設混合廃棄物	94t
廃プラスチック	7t
繊維くず	5t
廃石膏ボード	42t
その他がれき類	394t
ガラス・陶磁器くず	86t

（自社運搬の収集運搬量）

対象年月 品目	2022～23年 （9月～8月）
コンクリート殻	14,476t
アスファルト殻	240t
その他がれき(安定型)	84t
ガラス・陶磁器くず	18t
廃プラ類	7,781t
混合（中間処理）	48t
木くず	83t
繊維くず	1t
廃石膏ボード	34t

３．　環 境 経 営 方 針

【 環 境 理 念 】

基本理念　　私たちは、事業活動のあらゆる面で地球環境の保全や
環境負荷の低減をはかり、 地域の活力が最大限に発揮される持続可能な社会を
積極的に取り組みます。

【 環 境 行 動 方 針 】

１．　当社の事業活動に関する次の項目を重点項目として継続して取り組みます。

①　電力及び燃料等の消費量の削減・管理

②　一般廃棄物及び産業廃棄物排出量の削減・管理（分別及び発生抑制を考慮）

③　水の使用による排水量の削減・管理

④　環境に配慮した施工（騒音・振動・粉塵防止など）

２．　環境関連法規等を遵守します。

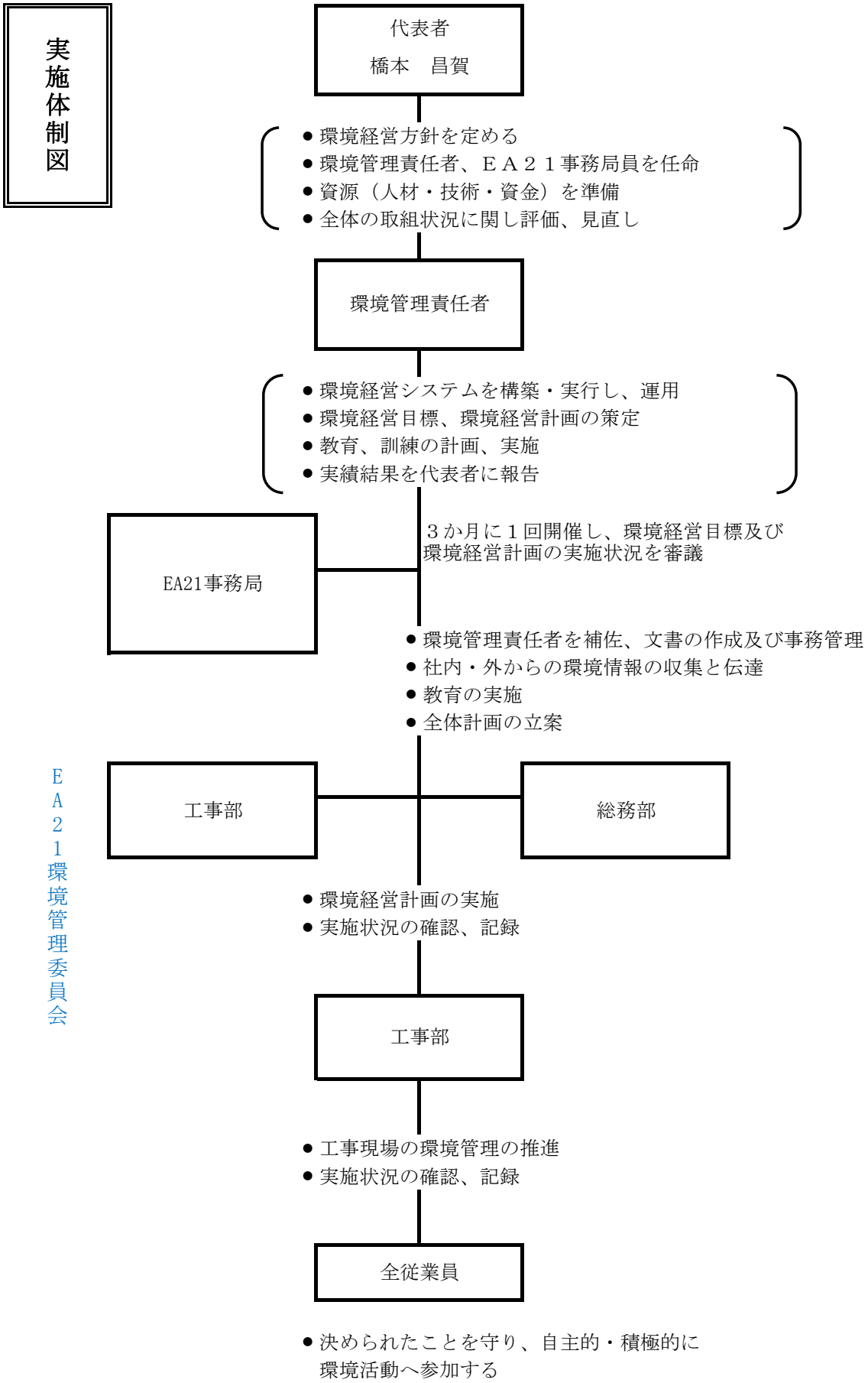
３．　全従業員で、地域貢献活動し環境活動に取り組む

４．　PDCAを回し、環境経営の継続的改善に取り組みます。

制定日 令和5年5月24日
改訂日 令和5年9月1日

有限会社　大洋企業
代表取締役　橋本　昌賀

２．　実 施 体 制


実施体制図
代表者
橋本　昌賀
● 環境経営方針を定める
● 環境管理責任者、ＥＡ２１事務局員を任命
● 資源（人材・技術・資金）を準備
● 全体の取組状況に関し評価、見直し
環境管理責任者
● 環境経営システムを構築・実行し、運用
● 環境経営目標、環境経営計画の策定
● 教育、訓練の計画、実施
● 実績結果を代表者に報告
３か月に１回開催し、環境経営目標及び
環境経営計画の実施状況を審議
EA21事務局
● 環境管理責任者を補佐、文書の作成及び事務管理
● 社内・外からの環境情報の収集と伝達
● 教育の実施
● 全体計画の立案
ＥＡ２１環境管理委員会
工事部
総務部
● 環境経営計画の実施
● 実施状況の確認、記録
工事部
● 工事現場の環境管理の推進
● 実施状況の確認、記録
全従業員
● 決められたことを守り、自主的・積極的に
環境活動へ参加する

4. 中期環境経営目標（2022年～2024年）

			実績（基準値）	環境経営目標		
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
			年間	（1%削減）	（2%削減）	（3%削減）
環境経営目標		単位	2021年9月 2022年8月	2022年9月 2023年8月	2023年9月 2024年8月	2024年9月 2025年8月
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	217,984	215,804	213,624	211,444
電力使用量の削減		kWh	4,816	4,768	4,720	4,672
ガソリン使用量の削減		L	11,426	11,312	11,198	11,083
軽油使用量の削減	トラック	L	24,375	24,131	23,887	23,643
	重機	L	56,122	55,561	55,000	54,438
一般廃棄物搬出量の削減（リサイクル促進）		t	25,630	25,374	25,117	24,861
建設産業廃棄物搬出量の削減（リサイクル促進）		t	13,344	13,210	13,077	12,943
収集運搬の効率管理		―	―	計画的配車	計画的配車	計画的配車
水使用量の削減		m3	675	668	662	655
社会貢献・清掃活動の実施		回	2	2	3	3

電気のCO2排出係数は、九州電力の2021年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用した。

５．　環境活動計画及び実施状況評価

環境活動項目	具体的な活動	頻度	実施 責任者	評価	コメント
１． 電気使用量の削減	電気不必要時の消灯	毎日	経理部	○	昼休みの消灯実施
	OA機器、空調機の退社時の電源オフ	毎日	経理部	○	
	空調機の室内温度設定（実施の徹底）	毎日	経理部	○	
	空調機フィルターの定期清掃	3ヶ月1回	社員一同	―	猛暑が続き出来なかった
	ブラインドに使用による室温の上昇防止	夏季	経理部	○	事務所ガラスフィルムを張る
	節電表示の徹底	毎日	経理部	○	
２． ガソリン使用量の削減	エコドライブの推進・徹底 （急発進・急停車の防止・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ）	毎日	社員一同	△	
	低燃費車両への交換	将来	環境責任者	―	営業車数台を車両交換
	車両点検の実施 （車の状況・タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	社員一同	○	
３． 軽油使用量の削減	エコドライブの推進・徹底 （急発進・急停車の防止・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ）	毎日	工事部	△	
	低燃費車両への交換	将来	環境責任者	―	
	車両点検の実施 （車の状況・タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	工事部	○	オイル交換・タイヤの空気圧・交換を徹底
	車両系建設機械始業前点検（月例点検）	随時	工事部	△	
	車両系建設機械エコドライブの推進・徹底 （アイドリンクストップ・経済運転など）	毎日	工事部	△	
	車両系建設機械　低排出ガス対策型機	適時	環境責任者	―	全機械交換済
４． 廃棄物のリサイクル化と 廃棄物搬出量の削減 （一般・産業廃棄物共通）	コピー用紙の再利用（裏紙利用）	毎日	経理部	○	
	廃棄物の品目ごとにコンテナ・フレコンなど設け分別を徹底	毎日	工事部	△	混合廃棄物無くす　　心がけ実施中
	リサイクル促進 （建設副産物リサイクル）	適時	工事部	○	
	マニフェスト伝票の適切な管理 （委託契約書徹底）	毎日	経理部 社員一同	○	
	優良認定処理業者への持込徹底	適時	工事部	○	
５． 水使用量の削減	節水ステッカー表示 節水工夫（出しっぱなし禁止など）	毎日	社員一同	○	
６． 地域貢献	ボランティア活動の実施 （道路清掃・地域活動など）	年2回	社員一同	○	事務所の周りの週一　清掃実施
	川口小学校への図書寄贈	年1回	代表者	○	

6. 短期環境経営目標の実績及び その評価と今後の取組内容

取組期間 ： 2022年度:2022年9月 ～ 2023年8月

		単位	2021年度	2022年度				評価及び 今後の取組内容
			実績 基準値	目標値 (-1%)	実績	目標 達成度	判定	
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	217,984	215,804	259,630	83%	△	社屋屋根面に太陽光パネルを設置したことより、使用量の大幅削減を図ることが出来た ガソリン、軽油が増加し、目標未達成だった 取り組み内容は継続していく
電力使用量の削減		kWh	4,816	4,768	3,727	128%	○	目標を達成した 社屋屋根面に太陽光パネルを設置したことより、使用量の大幅削減を図ることが出来た 取り組み内容は継続していく
ガソリン使用量の削減		L	11,426	11,312	15,159	75%	×	目標は未達成だった 営業活動への注力並びに現地調査等、 長距離の車両使用頻度が高く使用量が 増大した 取り組み内容は継続していく
軽油使用量の削減	トラック	L	24,375	24,131	26,798	90%	△	目標は未達成だった 日々のアイドリングストップ等ちょっとした意識改革の成果とみている 取り組み内容は継続していく
	重機	L	56,122	55,561	59,647	93%	△	目標は未達成だった 日々のアイドリングストップ等ちょっとした意識改革の成果とみている 取り組み内容は継続していく
一般廃棄物搬出量の削減 (リサイクル促進)		t	25,630	25,374	18,000	141%	○	目標を大きく達成した 特殊事情あり⇒欄外注記に記載※1 引き続きリサイクル促進活動を実施していく 取り組み内容は継続していく
建設産業廃棄物搬出量の削減 (リサイクル促進)		t	13,344	13,210	5,607	236%	○	目標は達成した 工事からの排出量が減少した 引き続きリサイクル促進活動を実施していく 取り組み内容は継続していく
水使用量の削減		m3	675	668	669	100%	○	目標はほぼ達成できた 天候不良、雨天時が多く自社トラックは広告塔でもあるため、車輌洗車によるものが原因 今後は洗車頻度の見直しを図る
社会貢献・清掃活動の実施		回	2	2	2	0%	○	目標は達成できた 工事現場付近の清掃活動を実施した。

判定基準: ○ 100%以上 △ 80%以上、100%未満 × 80%未満(是正処置の対象)

※1 基準年は、熊本市と連携し古民家(空き家)解体や草刈りのボランティアがあり、大量の一般廃棄物を排出した。今運用年度はボランティア活動がなかったために、目標と実績に乖離が生じた。

7．環境活動・取組実績

切手・はがきボランティアへのご協力ありがとうございます

拝啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、当協会への使用済切手＆書損じはがき募集にご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からお送りいただきました切手・はがきは、社会貢献事業「手紙を書こう！プロジェクト」のために役立てられます。

今後とも温かなご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

書き損じはがきも募集しています。
ご協力お願い申し上げます。

- 切手の周りは1cm残して切ってください。
- 切手が汚れたり切れているものは除いてください。
- 封筒のテープや糊、裏面は切り取ってください。
- 住所・宛名など個人情報部分は切り取ってください。
- はがき・書簡の印面、証紙、印紙、カード類は対象外です。

新しい記念切手大歓迎★

公益財団法人日本郵趣協会

郵便はがき

861-4123

熊本市南区川口町
1907-3

(有) 大洋企業 御中

公益財団法人 日本郵趣協会
事務局：〒171-0031 東京都豊島区目白1-4-23 切手の博物館4階
TEL. 03-5951-3311(代表)　FAX. 03-5951-3315
Eメール info@yushu.or.jp

ペットボトルキャップ回収受領書

©JCV

受領日：2023年9月5日

有限会社　大洋企業　様

この度はペットボトルキャップ回収にご協力頂き誠にありがとうございます。
今回ご寄付頂きましたペットボトルキャップは買い取り金額の一部を弊社にて皆様の思いと共に責任を持って『認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）』へ寄付致します。
回収実績は下記の通りになります。

◆回収重量：5．11kg
◆受領個数：約2，044個
◆ワクチン：約1本

大東商事株式会社
https://www.edaitou.com

© 2010kumamoto pref. kumamon

8.　環境関連法規の遵守状況

建設業に適用される主な環境慣例法令等は以下の通りであり、環境法規制を遵守してます。

遵守評価日：2023年9月10日

関係法令名	適用内容	頻度等	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業者・処理業者の許可の確認	1回/年	○
	排出事業者・処理業者との委託契約書締結	契約時	○
	マニフェスト伝票の発行・管理・保管（5年間）	処理時	○
	多量搬出事業者の報告（1000ｔ/年）	1回/年	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告の提出		○
	産業廃棄物運搬車の表示	運搬時	○
	産業廃棄物運搬車マニフェスト伝票の携帯		○
建設リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化等に関する届出必要	対象時	○
	特定建設資源（ｺﾝｸﾘｰﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄと鉄からなる建設資材・木材・ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ）使用		○
	解体工事（80㎡以上） 新築・増築工事（500㎡以上） 修繕・模様替工事（1億円以上）その他工作物に関する工事（土木工事等　500万円以上）		○
騒音規制法	特定施設の事前届出書提出（30日前）	対象時	○
	地域特性の騒音基準の遵守		○
振動規制法	特定施設の事前届出書提出（30日前）	対象時	○
	地域特性の振動基準の遵守		○
熊本県環境保全条例	大気の汚染に関する遵守	対象時	○
	水質の汚濁に関する遵守		
	騒音等に関する遵守		
	悪臭等に関する遵守		
	地球環境保全対策の遵守		
	日常生活における環境負荷の低減の遵守		
土壌汚染対策法	土壌汚染の状況の把握　＊地下タンク有無の事前調査	随時	―
フロン排出抑制法	第一種特定製品の設置の有無を確認	対象時	○
	第一種特定製品有無の事前調査	対象時	○
	建設機械車内エアコンの点検	３ヶ月毎	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器のリサイクルを推進	対象時	○

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。関連機関からの指導や苦情及び訴訟もありません。

9.　代表者による全体評価及び見直し

全体評価と見直し

環境問題への対応は従来から取組んで来ましたが、数字化された環境負荷及びその原因となる現状を正確に把握することができ、これをスタートとし環境問題への対応を社会的責務であることを認識し自ら設定した計画を実施出来なかった項目については、具体的な目標を毎年設定し、社員教育を徹底したい。

産業廃棄物についてはより一層適正な処理に取り組み、仕分け作業の効率化に努め、分別を細分化し3R（スリーアール）物を大切に使いごみを減らし、使えるものを繰り返し使い、廃棄物を資源として再び利用することを忘れないで全社員で協力・改善・創意工夫を積極的に努めて参ります。

2023年10月15日

有限会社　大洋企業

代表取締役　橋本　昌賀

	評　　価	見直し・指示
環境経営方針	事務職・作業員に周知が足りていない部分。 周知徹底。	目標を決め周知し改善。 一人一人の心がけを再度認識させる。 継続する。
環境経営目標及び 環境経営計画	全員で取り組む姿勢が見えてきた。改善に向けて活動を推進する。	エコ活動は身につけるので 継続して活動を行う。 継続する。
実施体制	実施体制は確立している。	各担当者は全社員と取組む。 継続する。